

陶都会だより

2023年

4月20日発行号

習字レクにて、利用者 M.O 様に題目を書いていただきました。

R5. 4月 ケアハウスお散歩



ドリーム陶都の周りの桜を見にお散歩に行きました。
普段あまりお話しされない方も桜を見て「きれいだね」と笑顔で言われる姿見られ散歩後には「楽しかったよ。ありがとう」と声をかけていただきました。

【今月の内容】

- ◆お散歩 . . . 1
- ◆新年度の挨拶 . . . 2, 3, 4, 5
- ◆食事紹介・百寿のお祝い . . . 6
- ◆嗜好調査結果報告 . . . 7
- ◆農福連携事業 . . . 8
- ◆多容荘 新年度の挨拶 . . . 9
- ◆多容荘 . . . 10

陶都会オフィシャルサイト

<https://tohtokai.jp>

読み取りはこちら→



新年度 挨拶

【常務理事】



【田中良夫】

令和3年度から常務理事となり、人事の担当をしてきました。令和4年度は、今までにないくらいの人材確保に苦勞しています。厚生労働省は、2022年版厚生労働白書を公表した際、今年は、「社会保障を支える人材の確保」をテーマに、現役世代が急速に減少し、高齢化がさらに進む人口構造のなか、社会のセーフティネットである社会保障を支える人々の人材確保について分析しています。白書によると、2022年、いわゆる団塊の世代（1947～1949年生まれ）が75歳を迎え始め、2025年までに毎年約200万人が75歳以上となると見込まれています。

健康上の問題の制限なく生活できる期間を指す「健康寿命」は、2019年に女性は75.4歳、男性は72.7歳と延びてきています。今年は、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットである社会保障制度にあらためて焦点をあてました。医療・福祉サービスを持続可能な制度としていくために、サービス提供の担い手である「人」の確保にどのように取り組むべきか、特に、その成果を詳細に検討・分析、そのうえで、今後の医療・福祉サービスの提供のあり方や人材確保の方向性についてとりまとめ、将来の担い手不足の克服に向けて提言しています。医療・福祉分野の就業者数（2021年現在891万人）は、約20年間で410万人増加しています。約8人に1人が、医療・福祉分野で就業している計算となります。今後20年間で20～64歳人口は約1,400万人減少する見込みだとしています。経済成長と労働参加が進むと仮定しても、2040年には医療・福祉分野の就業者数が96万人不足すると推計しています。今後、現役世代人口が急減するなかで、女性、高齢者等をはじめとした一層の労働参加が不可欠で、社会保障の担い手である医療・福祉分野には、より多様な人材を確保することが必要となる、と白書は指摘しています。

介護分野の職員には、専門的知識や技術を持ち心身の状況に応じた介護や、介護に関する指導を行う「介護福祉士」がいます。「介護福祉士」の登録者数も、1998年以降増加しており、181万3,112人（2021年9月）にのびります。

介護保険給付の対象となる介護福祉士等介護職員数は、常勤、非常勤を含めて211万9,000人（2020年度）。介護サービス利用者の増加に伴い、2000年に比べ約3.9倍に増加しています。介護関係職種の有効求人倍率は、2005年の1.38倍から2021年には3.64倍と大きく上昇し依然高い水準にあります。特に都市部での人材確保が必要な状況となっています。介護職員の離職率は2019年に初めて産業計を下回る15.4%となり、低下傾向にあります。離職者の約4割は他職種に転職しています。介護職員の賃金水準が低いことが指摘されますが、2009年以降、介護職員全般の処遇改善の取り組みが実施され、処遇改善実績が月額7万5,000円となったことも白書は紹介しています。退職者を出さないことが、安定した経営にも繋がり、人が人を育てることでお互いに成長することができ、より良いチームワークが生まれ、質の高い介護が利用者様に提供することができます。職員が、自分の家族や友達に自慢したくなるくらいの職場、そして誇り高い志事にしていきたいと思えます。

※出典・参考：令和4年版厚生労働白書

新年度 挨拶

【施設長】



【小川大輔】

今年度ドリーム陶都は20年目を迎え、来年3月21日で開設20周年を迎える事となります。ご利用者様、ご家族様、並びに関係各所の皆様に多大なるご理解、ご協力、ご支援を頂いているからこそ、1年1年しっかりと足元を固めながら前に進む事ができ20年という年月を歩むことができました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

20年目を迎えたこの陶都会を、この先さらに永續していく為には、絶対的な変革が必要です。ただこれは陶都会に限った事ではなく、高齢者介護の業界全体にその変革の時は迫っていると感じています。ドリーム陶都ではティール組織を構築しながら、次世代へしっかりと陶都会の理念を引き継いでいけるよう今から職員全員が経営・運営に参画しながら、学びを進めております。

家庭でも職場でも、周囲の方々の笑顔を大切に、自らが置かれた場所や環境でベストを尽くす。それができれば、おのずと目標以上の成果へ導かれると考えております。自身の自己実現のみではなく、入所者様や同僚に、そして社会に対して、他者実現を可能にし喜びや幸せを共有できる組織づくりを行って参ります。

今年4月1日からはドリーム陶都敷地内に他企業様による「さくらいろ保育園」が開園致しました。子どもたちの心地いい声が聞こえてきます。高齢者介護施設、障がい者雇用での「もにす認定」の取得、生活困窮者認定就労訓練事業、そして「さくらいろ保育園」。このようにドリーム陶都では重層的な支援が実現可能となりました。今後は陶都会のこのような考えを土岐市全域に広めていく事ができるように、土岐市内関係各所と連携しながらお力添えを頂き、土岐市が福祉に強く、未来に向けてひとすじでも良いから強い光を見出せるように職員、関係各所と協力し尽力して参ります。

最後に、陶都会で尽力して頂いている職員の皆様がいるからこそ、経営・運営は成り立っています。陶都会全職員の皆様に感謝を申し上げます。そして、その職員を支えて下さっている、職員のご家族様にもこの場をお借りしまして感謝申し上げます。職員一人一人が人生に使命感をもち、輝ける職場を今後も目指して参ります。

今年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

新年度 挨拶

【事務局長】



【田中良和】

2010年3月、岐阜県子育て支援施設等緊急整備事業費補助金の採択を受け、ドリーム陶都敷地内に事業所内託児施設「さくらんぼ保育園」を整備しました。制度上、入園対象者が法人職員の子供に限定されていた事もあり、利用者数の関係等から2014年度より休園状態が続いており、施設の有効活用を模索していたところ、今年度より、保育事業を始めたい他社さんに建物を貸与する事で、定員19名の未満児保育園「さくらいろ保育園」として新たなスタートを切ることになりました。早速、敷地内で園児たちの元気な声が響いています。また、個人的には前職の思い出が蘇ってきます。

私の職歴を少しお話しさせて頂くと、約15年前、可児市で定員70名の認可保育園の立ち上げを事務方として経験した事がありました。立ち上げ期間を含めて約3年ほど子育て分野の福祉に関わりましたが、当時は独身で、書類申請等はそれまでの経験でこなす事ができても、園児や保護者との関わる中で、子育て中の方の気持ち、どのようなサポートがより必要とされているかといった部分は、正直全くわかりませんでした。ただ、ベテラン保育士、前職行政で子育て支援、プライベートでは子育てを終えられた園長から教を乞う日々でした。

園を退職後に子の親となりましたが、実際に子育てをしながら、自分が子供を保育園に通わせる立場になり、その時になってようやく本当の意味で保護者の気持ち、大変さが理解できたとともに、園や社会に何をやってもらえたら助かるのか、有難いのか理解できました。ただ、世の中には様々な家庭環境や暮らしぶりがあるため、理解したといっても本当に一部分（1ケース）だと思います。

そういった角度から見ると、当法人も、介護保険制度を遵守した介護サービスの提供、日々の振り返り、改善といった基本ベースに加え、農福連携、地域交流カフェ、他社さんとの連携による保育園の整備を通し、「高齢者福祉の陶都会」から進化し「法人機能の多角化、多機能化」「多世代交流拠点」へ、そしてゴールは「まちづくりへの参画」を目指し邁進しておりますが、日々の取組み、方向性にご利用者、ご家族のニーズ、気持ちに寄り添ったものであるかは常に自問自答し続けなければなりません。

例えば、当法人管理職の年齢、状況を見ると、私をはじめ、両親の介護を経験した事がある者はまだまだ少ないですし、当然ですが介護サービスを受ける側に立った事ありません。どれだけ専門的な知識があったとしても、あくまで「想像の域」、「個人の狭い世界観から発想されたもの」である部分が多いという事を自覚する必要があります。

現在、制度として正解とされている事、農福連携、介護に近い位置にある医療（医学）からのアプローチが、ご利用者やご家族にとって本当にベストなのか。

業界内（専門職といわれる集団による）での議論は、これまでも色々な所でなされ、行動や一定の結果も伴ってきたと思いますが、今後は、《前述した「想像の域」を現実のニーズに近づける、一致させるための手段の一つとして》専門集団の垣根を越え、あらゆる部分で外部（専門外）からの見解、価値観を参考にし、或いは、逆の発想で専門職が積極的に自ら外に出る（知る）ことで進化すべきではないかと考えます。

自身の経験ですが、自治会活動に参加するだけでも非常に効果的です。

「制度の中での仕事」だけでは既に飽和状態であり、就業時間中だけ専門職として働いているというだけでは自己満足、まだまだ自分は社会を、真のニーズを知らないんだ。それくらいの気持ちでちょうど良いかもしれません。

また、介護保険制度も23年目を迎えました。俯瞰すると、最近で言えばコロナ対策のように、マニュアル通りに均一性を保つことには一定の成果がある一方で、人としての幸福度を高める事はできているのか？均一性と独創性（独創性までいなくても個性）の両立の必要性を強く感じます。

さくらいろ保育園の開園と、（少し計画から遅れていますが）地域交流カフェがオープンする事で、今後は地域、異業種との協働機会の増加が期待できます。また、コロナも2類から5類になることで、これまで自粛していた農福連携での活動も再開されます。

陶都会が次のステージにシフトしていくための準備は整いました。

1人1人が積極的に地域、業界外から気づきを得ながら「均一性と個性」の両立を実現させる。そんな2023年度になればよいと思います。

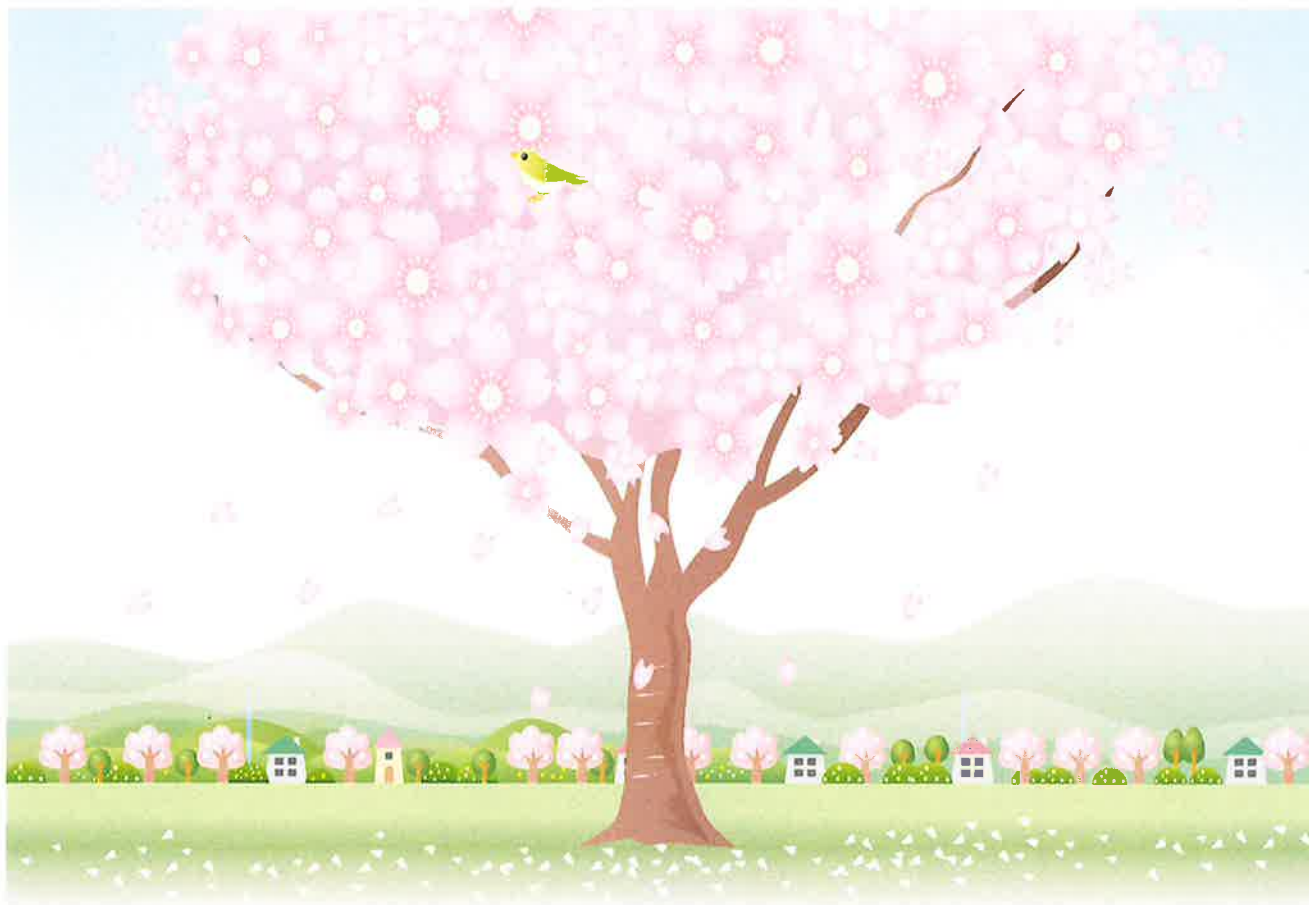
追伸

毎年実施させていただいている施設満足度アンケートのご回答の中に、

「致知（月刊誌）が置いてある会社で悪いところはない」

といったコメントを頂きました。ありがとうございます。

三輪理事長が是非皆で読み学びを得て欲しいと定期購読をはじめてから10年ほどになります。職員全員が読み、知識としてだけでなく行動できるというレベルにはまだまだ至っていませんが、今後も「致知が置いてあるところは違うな」と評価いただける施設を目指します。



R5.3～R5.4 食事紹介



3月お誕生日食
菜飯
かき玉汁
天ぷら盛り合わせ
大根のつぼ漬け和え



↑ 3/20
高菜炒飯

《次月の行事食》

- ◆5/12 パンメニュー
→ ツナマヨトースト、コーンポタージュ 他
- ◆5/18 誕生日食
→ 生姜とツナの炊き込みご飯、鶏のから揚げ 他
- ◆5/19 ミートソーススパゲティ
- ◆5/24～26 五平餅(3F・4F)
→ 各階で焼きます!
- ◆5/29 豚キムチ炒飯



← 3/31
けんちんうどん

4/14 →
鹿児島ラーメン



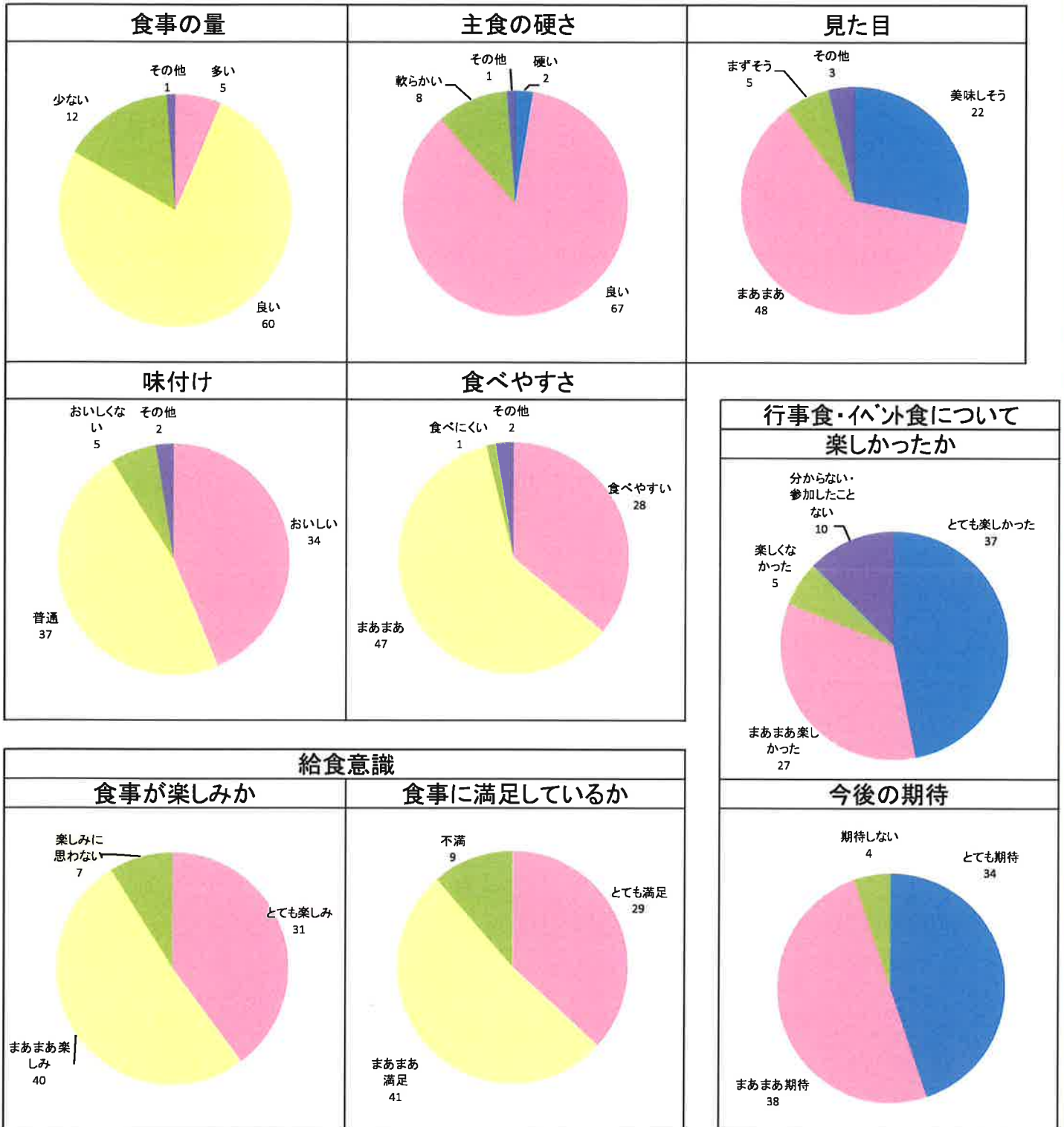
R5.4.5(水) 百寿のお祝い



御年百歳を迎えられる利用者様の百寿のお祝いを行いました。同フロアの利用者様と職員に囲まれ、とても幸せそうな表情をされておりました。感極まり、時折目元に涙を浮かべられる場面もありました。職員による音楽の演奏もあり、とても賑やかで微笑ましいお祝いとなりました。

百寿、おめでとうございます。これからも長生きしてくださいね。

嗜好調査結果報告



今回の調査では、普段の食事についてたくさんのお言葉をいただきました。アンケート時はまだまだコロナ渦が続いていた中でしたが、お食事を楽しみにされておられる方も多くみられました。様々な意見や感想をいただき、ありがとうございました。今後も満足できる食事提供を行っていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

栄養部



4月農福連携事業部活動報告



加工品の催事販売

今回機会を頂き3月21日「パンと器と2023 めぐる」のイベント、3月25日・26日「プラティ多治見」オープンイベントにて、ドリーム陶都の農園で収穫加工した「卵・カステラ・イチゴジャム・椎茸」を販売させて頂きました。パンと器のイベントの出店は今回2度目となり、販売所には昨年購入して頂いたリピーターのお客様が来店され購入をして頂きました。

また、プラティ多治見のオープンイベント販売ではオープンという事もあり、多くのお客様が来店されていました。来場者の中には土岐市内からのお客様も来店されていて、「こんな近くでやっているなんて知らなかった」など驚いている方もみえました。今回の出店では売るだけではなく、知って頂くという事が大きな収穫であったと感じます。今後も農福連携事業を沢山の皆さまに知って頂けるよう情報発信していきます。



農園の状況

農園内に植えた野菜達も、春の陽気に誘われ少しずつではありますが芽吹いてきました。トウモロコシは種植えをしてから約17日で発芽をしました。まだまだ小さい芽ですがこのままポットで10cm程になったら畑へ植え付けを行います。順調に成長すると7月頃には美味しいトウモロコシが収穫できる予定です。次に、ジャガイモ（きたあかり）ですが種芋を植えてから約20日で少しずつ芽を出し始めました。約10kgの種芋を植えたので順調に育ってくれれば100kg弱のジャガイモが収穫できる予定です。これからどんどんと農園内に緑が増えていくと思います。農園を散歩する際には、野菜達の成長を見るのも楽しいと思うので、気にしながら見て頂ければと思います。また、利用者様達に協力して頂きながら収穫作業も計画しているので、収穫時には、力を貸してください！よろしくお願いします。



3月12日現在



3月29日現在

新年度 挨拶

【多容荘施設長】



【三輪慎二】

新年度となり、多容荘は多治見市より陶都会へ移管・開設から13年目、北栄地域包括支援センターは開設から5年目を迎えることができました。昨年度も様々な出来事がありましたが、大過なく運営出来たこと、関係者皆様方、職員の皆様に先ずは心より感謝申し上げます。

昨年度も新型コロナウイルス感染症の猛威が続く中、多容荘では1名の入所者と数名の職員に感染が確認されましたが、どの事例も施設内での集団感染に至ることなく対応することができました。新型コロナウイルス感染症については、ようやく終息の兆しが見えつつあり、社会全体では徐々に感染対策の緩和が進んでいます。しかしながら多容荘は高齢者が生活する施設です。感染した場合は重症化する恐れがある病気に変わりはありませんので、感染症対策については油断することなく、また過剰になり過ぎないように留意し、少しずつコロナ禍前の生活に近づけるよう努めていきたいと思っております。

多容荘は介護施設ではなく、養護老人ホームです。養護老人ホームとは、「住まいなどの環境面や経済的な理由で、自宅での生活を続けることが難しくなった、概ね身の回りのことが自分でできる65歳以上の高齢者が、市区町村の措置によって入所できる施設」です。本来であれば、それぞれの施設生活で生じる利用料などの自己負担分について、様々な理由により負担できない部分を福祉（市税）で支えられています。そのような施設で生活されている入所者の皆様におかれましては、それぞれの状況・状態に応じた「自分らしい自立した施設生活」が継続できるように、それぞれが「意識」、「努力」、「協力」を心掛けた生活をしていただきたいと思います。また職員についても、入所者の皆様それぞれの「自立」、「心身の健康」に必要な支援を心掛けて対応させていただきます。

現在、多容荘では養護老人ホーム、地域包括支援センター、生活困窮者就労訓練事業（自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者、引きこもりだった人、精神疾患を抱えている人などすぐに一般企業等で働くことが困難な方に対し、その状況に応じた就労の機会を提供しながら、一般就労に向けた支援を行う）を実施しています。今後も地域の方々が必要としている福祉事業に取り組んでいき、多治見市の福祉施策の実現に向けて、微力ではありますが協力させていただきたいと思っております。今年度も変わらぬ、ご支援ご指導の程よろしくお願い致します。

養護老人ホーム 多容荘

※写真掲載を希望されない方の顔は加工しております。

誕生日者食事会

3月誕生日者は3名
お寿司とかわいい
ケーキです♪



R5.3.9 憩いの歌



色とりどりのスカーフをなびかせて
高原列車を歌います♪振付ありの歌、演
奏しながらの歌と皆さん大忙し!

R5.3.15 ひな祭り会



甘いおやつの前に頭の体操! ジャンケンゲームに
始まり、3つのジャンルのお×クイズを行いました
た。ことわざ、昔の道具、四字熟語…全15問中
10問以上の正解者には景品あり♪

さて、こちらの道具は何でしょうか? →
こちらは難問でした!



R5.3.22 慰霊祭



この1年の内に
亡くなった多容
荘の利用者様や
利用者様の身内
の方への哀悼の
意を表して、
お焼香をあげま
した。

R5.3.24 桜餅作り



関東風桜餅

きれいなピンク色の生地を焼き、丸め
たあんこを包みました。
最後に桜の花もトッピング☆



R5.3.22 避難訓練



開始時刻は事前に伝えずに
実施しました。皆さん落ち
着いて行動できましたか?